

新種オミクロン株と小児ワクチン接種

沖縄ではコロナ感染者は減少に転じているとの報道が出ていますが、静岡県では感染者数、重症化患者数は依然多く、病床ひっ迫が続いています。

オミクロン株の中でもステルス株 (BA2) という新種のコロナウイルスが徐々に増えてきたとの報告があり、このウイルスは毒性は同程度だが感染力がさらに強いとの報告もあり、まだまだ安心して外出できない状況です。

さて御殿場市では 5 歳から 11 歳の小児への集団接種（個別接種については後日発表）が 3 月 16 日（日曜日）から始まります。小児のワクチン接種に関しては専門家でも意見が分かれる所で、国も推奨はするが努力義務はないという見解（強制ではない）を示しています。しかし、国がやると決めた以上、地方行政はこれを受け入れて体制を整え、実施予定を組まなければなりません。医師会としてはそれに助言をし、かつ手助けをするという、すべてのワクチン接種と同様の立場をとることになります。今回実際に接種するのは看護師でなく、医師になりますので、担当の先生には本当に神経を使う業務となりますが、なにとぞ御協力をお願いします。